



日本学生支援機構委託事業 国際交流拠点推進事業

多文化共生から始まる 防災・減災と復興 「コロナと防災」

今から始められる、1アクション
学生×地域×外国人

日時：2021年2月28日（日）10：00～12：00
会場：WEB会議システム（ZOOM）
対象：大学生・大学院生・社会人・その他
講師：吉椿 雅道（CODE海外災害援助市民センター事務局長）
後藤 源太（地球道／Bird's Eye 代表）
柳瀬 彩花（追手門学院大学 地域創造学部2年生）
Andrew Mitchell（熊本大学特任助手）

ファシリテーター：坪田卓巳（灘区地域活動支援コーディネーター）

使用言語：日本語・英語

参加費：無料

申込方法：こちらのQRコードから、

お申し込みください>>>





コロナ禍の対応は、災害時の対応にも通じる！

今回はオンラインシンポジウムにて、災害等の困難な事象を共に解決していく視点で、CODE海外災害援助市民センター事務局長 吉椿雅道氏にご講演いただきます。

またこのコロナ禍で、今自分でできることを考え、行動に移した経験を、学生と社会人、外国人それぞれの視点で、3名の登壇者にお話しいただきます。「学生・地域・外国人」各々の立場から見た、災害時のコミュニティの在り方や、コロナウィルスの影響が続いている現状の中にある課題についてディスカッションし、「多文化共生から始まる防災」「災害時における地域の外国人との共助」について考える、大変貴重な機会となります。

是非皆様のご参加をお待ちしております！

SPEAKERS



吉椿 雅道

CODE海外災害援助市民センター事務局長

10代より武術や東洋医学を学ぶ傍ら、環境、障がい者、先住民支援等のボランティアにかかわる。1995年の阪神・淡路大震災では、被災地で足湯ボランティアを行う。2004年より災害NGOのスタッフとして国内外の被災地で復興支援に携わる。2013年、CODE事務局長に就任。関西NGO協議会常任理事、Kansai-SDGs市民アジェンダ分科会座長。コロナ支援の国際アライアンスIACCR呼びかけ人。



後藤 源太

地球道/Bird's Eye代表

2019年の台風15号や2020年の九州の人吉市での水害ボランティア活動に参加し、人々が繋がることの強さと、その時得られる幸福感を実感しました。新型コロナ禍の中で、身近で実施した活動をご紹介します。

講演テーマ：

「一番身近な助け合い・ゆずりあい
～マスクおゆずりボックス～」



柳瀬 彩花

追手門学院大学
地域創造学部2年生

高校時代にCODEに出会い、中国の被災地を訪れる。その後も東日本大震災、西日本豪雨等の被災地でボランティアを行う。現在、大学で被災地の住環境やまちづくり等を学ぶ傍ら、コロナで困窮している人達を支える活動を展開している。

講演テーマ：「足元を見直して気づいたこと」



アンドリュー・ミッチェル

熊本地震体験プロジェクト
(KEEP) 代表

熊本大学HIGOプログラム特任助教。2014年に文部省による奨学金を得て、イギリスから熊本大学の博士課程に入学。熊本地震で被災した体験をきっかけに、2016年に他の留学生と共に、日本で外国人として被災した経験を伝えていく、熊本地震体験プロジェクト(KEEP)を設立。

FACILITATOR



坪田 卓巳

灘区地域活動支援コーディネーター

派遣会社にて若年者向け就労支援事業に従事したのち、市内のNPO法人にてNPOの設立や運営相談、地域団体向け会計相談などを担当。神戸大学在学中より被災地支援活動や子ども、障がい者、高齢者関係などのボランティア活動に参画。

【問い合わせ】

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
TEL: 078-271-0233

E-mail: gnavi@consortium-hyogo.jp

URL: <http://www.consortium-hyogo.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/conso.hyogo.kobe/>

